

FALプロジェクト概要



テーマ

フィールドスタディ(FS)への参加を通じて 持続可能な地域づくりについて考える

連携先

飯田市役所

主な活動場所

長野県飯田市

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

持続可能な地域づくり、着地型観光、公民館活動、グリーン／エコツーリズム

活動内容 概要

人口約10万人の地方都市・飯田を「学びの場」として提供する3泊4日の学習プログラムです。環境・産業・観光・まちづくりなど、多様な分野において主体的に活動している実践者を講師とし、地方都市の実情を直接肌で感じていただきながら、他大学の学生や地域住民との学習交流を通じて、持続可能な地域のあり方を考えます。

活動の目的

- ・実践者の「生の声」を聴いて、持続可能な地域づくりについて考える
- ・地域の環境、観光、自治など、関心のある分野への理解を深める
- ・FSにおける学びを大学生活での学びへとつなげる

求める人材像

- ・将来、公務員、地方自治体職員、NPO職員を目指す者
- ・地方自治体や地場産業に興味・関心がある者
- ・グループワークでの活動に積極的に参加できる者

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 他大学の学生、地域住民、行政職員などさまざまな人と対話する力
- ▶ 他者ととともに学びを整理し、プレゼンテーションを行う力
- ▶ 地域について多角的に捉え、持続可能な地域づくりのあり方を描く力

FALプロジェクト概要



テーマ

四條畷市田原地域における「地域主体のまちづくり」

連携先

四條畷市役所、田原支所

主な活動場所

本学および大阪府四條畷市
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

四條畷市 山間部ニュータウン 商業・交通まちづくり

活動内容 概要

現在、四條畷市田原地域では「地域主体のまちづくり」をめざし、さまざまな取り組みを進めている。一方で市外住民、特に若者の視点があまり反映できていないのも事実である。これをふまえ、(1)住民との対話を通じた現状の把握、(2)現状をふまえた課題解決方策の模索、(3)方策の実践とその効果検証をおこない、まちづくりの実現を図りたい。

活動の目的

- ・四條畷市田原地域の理解
- ・田原地域のまちづくり方策の考案
- ・まちづくり実践活動への参加

求める人材像

本件では、地域の色々なメンバーと対話をしながら、地域の魅力向上とその様子を広く人々に届けていく方法について探っていきます。我々としては広くコミュニケーションを取れる方、色々な催しに参加して交流をすることが好きな方、課題にじっくり取り組む姿勢のある方をお待ちしています(四條畷市を知らない方も大歓迎です!!!)。共に悩み、共に語り、共に活動していく仲間として力を合わせていきませんか？

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 地域問題についての理解、コミュニケーション能力、問題発見力、応用・実践力、発信力

FALプロジェクト概要



テーマ

産官学協働による地域課題解決

連携先

シンク・アンド・アクト

主な活動場所

未定(ただし、京都府北部地域を想定)
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

産官学協働、地域振興

活動内容 概要

事前のリサーチとフィールドワークを両立した、地域課題の発見と具体的な解決策の提案を、連携先企業およびフィールドワーク先自治体職員と連携することで、産官学協働による立場の違いを意識した多角的な実践力・課題解決力を身に付ける。

活動の目的

- ・データドリブンな地域課題の発見および解決策を提案する。
- ・居住や労働等の関わり方の違いによる地域理解の異なる視点を理解する。
- ・産官学それぞれの立場による地域理解の異なる視点を理解する。

求める人材像

地域課題の解決には、関わり方や立場の違いを考慮する必要があります。その点で、思い入れの強い人ばかりが集まってもバランスの良い意見が得られないからこそ、とにかく幅広い人材を求めます。その上で、積極性と主体性は必須です。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 多様な住民・生活者像を理解することのできる俯瞰的な考察力
- ▶ 立場の理解を乗り越えて共通理解を得るためのプレゼンテーション力
- ▶ 現場で生じる課題に対応する臨機応変力

FALプロジェクト概要



テーマ

「ショッピングリハビリ」にかかわる ユーザー・イノベーションの支援(事業構想系)

連携先

ショッピングリハビリカンパニー株式会社

主な活動場所

ひかりサロン宝塚小林店 阪急今津線小林駅から徒歩5分のイズミヤ小林店内3階)

キーワード

リハビリの生活化、ウオーカブルな街作りのローカルな実践、社会学を社会に実装

活動内容 概要

「10回のリハビリより1回のお買い物」。これが、ショッピングリハビリのキャッチフレーズである。日本国内に15箇所ある「ひかりサロン(ショッピングセンター内にある、介護予防施設。利用者が「楽々カート」で買物をしながらリハビリをしている)」のうち、尾添社長直営の「ひかりサロン宝塚小林店」において、日常的にボランティア的フィールドワークを行う(お買い物に付きそう。話相手になる)。それと同時に、小川進『ユーザーイノベーション』(東洋経済新報社 1800円+税)の輪読をし、企業主導の事業構想ではない、消費者が主体となった事業構想も可能であることを学ぶ。その上で、新しい事業構想の提案をする。繰り返しのグループワークで、問題を多角的に扱う能力を養う。ビデオクリップ作成で、プレゼン能力も培う。なお、三重県に土地勘がある受講生がいた場合には「いなべ市楽々カート運用実地調査」の実施も検討する。

活動の目的

これまでの「リハビリ」は、医学モデル的で、かつ、健常者中心主義的だった。リハビリそのものがつまらなくても、健常者に近い状態に回復すれば、そこから人生が再開するという考え方だった。しかし、高齢者の体は衰えていく方向なので、これでは、意欲は沸かない。ショッピングリハビリは、リハビリと生活の一体化を目指す。歩く補助具を、買物をするためのカートで作ったのだ。生活と一体化したりハビリは、生活を変える。これまで、家の中だけにいた高齢者が、買物をするようになることで、家の中でのテレビの見方が変わる。テレビでの話題の商品を実際に買って、家族に自慢できるようになる。このショッピングリハビリをさらにバージョンアップするためにはどうすればよいか。経営学における『ユーザーイノベーション』の考え方や、国土交通省の「ウオーカブルな街作り」の哲学的発想を学ぶことで、グループワークを充実したものにしていきたい。

求める人材像

生活というものの細やかさに注意が向く学生。自由な発想力を持った学生

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 日本の高齢化の問題、専門家中心主義の問題を自分ごととして考えることができる。
- ▶ 地道な活動を持続する根気。高齢者とのコミュニケーション力。
- ▶ 自分や学友の個性が、事業改善構想の多様性につながることを理解する能力。

FALプロジェクト概要



テーマ

街づくり・公園づくりに参加する

連携先

(株)星田逸郎空間都市研究所

主な活動場所

現地周辺(寝屋川市国松住宅地)、大学内、大阪市内の住宅生産振興財団
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

街づくり、公園づくり、参加と協働、くらしとデザイン、エアリアマネジメント

活動内容 概要

寝屋川市内の新しい一戸建て住宅地区の街づくりです。区画整理にて道路や公園・集会所を整備した後、民間事業者が一戸建住宅をつくります。地域・行政・事業者と、公園や集会所の活用や形を話し合います。学生もそのプロセス全体に参加します。

活動の目的

- ・公共空間づくりにおける協働の視点とスキル
- ・現代の市街地や地域社会のもつ問題点に関する知識
- ・工業化住宅、民間分譲住宅のもつ可能性と限界とその克服に関する視点と知識

求める人材像

街づくり、公園づくり、参加と協働、現場体感、住宅地デザインなどに興味ある学生

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 公共空間づくりにおける協働の視点とスキル
- ▶ 現代の市街地や地域社会のもつ問題点に関する知識
- ▶ 工業化住宅、民間分譲住宅のもつ可能性と限界とその克服に関する視点と知識

FALプロジェクト概要



テーマ

都市型公園の利活用を考える

連携先

一般社団法人テラプロジェクト

主な活動場所

テラプロジェクトオフィス・扇町公園(大阪市)

キーワード

都市型公園の未来像、みどりをPRするイベント作り、コミュニティ作り、運営システムと組織作り

活動内容 概要

みなさんは普段公園を利用しますか？東京23区より緑被率が低く、みどりの少ない大阪。都市部の公園は、少ないみどりを感じられる貴重な場所です。
大阪市北区の扇町公園は、大都市梅田に近く天神橋筋商店街にも隣接する都市型公園です。海外からの観光客も含め、多様な人々が利用する扇町公園は、これまで以上にみどりの大切さ、素晴らしさをPRするためのイベント作りが求められています。今年度は、扇町公園でフィールドワークを実施し、みなさんには「みどり(植・食)をPRする」イベントを「お祭り化」するための、ビジネスモデル作りに取り組んでもらいます

活動の目的

- ・都市型公園が直面する課題を理解できる。
- ・イベントを考え実践することができる。

求める人材像

街づくり、公園づくり、参加と協働、現場体感、住宅地デザインなどに興味ある学生

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 課題を理解し、調査(ヒアリングを含む)・分析し、アイデアの発散と整理を行い提案する力
- ▶ 他者と協力して、提案を実践する力

FALプロジェクト概要



テーマ

まちの面白さを編集・発信してみよう!

連携先

松原市・松原市観光協会

主な活動場所

松原市内の公共施設、イベント等
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

広報、シティプロモーション、SNS、ライティング、地域活性化、イベント企画

活動内容 概要

期間中を、大きく2部プログラムで構成
①まちの魅力を取材して、ブログを作成してみる
②イベントを企画して、実際に実施してみる

活動の目的

- ・広報PRの基本である「見たもの、感じたものを編集し、文章でターゲットに届ける」を実体験を通じて理解を深める
- ・まちの現状を調査、理解し、必要な企画を考え、実行までの一連のプロセスを実体験を通じて理解を深める

求める人材像

- ・広報、プロモーション、SNS等に興味がある
- ・まちや地域活性化に興味がある

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ **【全体】**チームで協働する力、行政の視点、市職員の働き方を学ぶ
- ▶ **【ブログ作成】**ライティング・文章構成力、リサーチ力、コミュニケーション力等
- ▶ **【イベント企画】**アイデア発想力、資料作成・提案力、プロジェクトマネジメント等